発行　京都市保育園保護者会連合協議会
604-8854　京都府京都市中京区壬生仙念町 30-2
ラボール京都（京都労働者総合会館）５階
TEL.075-801-8810 / FAX.075-822-6220
E-mail: info@shihoren.net
https://kyotoshihoren.wixsite.com/my-site
京都市保育園保護者会連合協議会

京都市保育園保護者会連合協議会
市保連ニュース
2022年 9月号

2022年度市保連総会＆学習会を開催しました
～コロナ禍での保護者会の意義を再確認～

7月10日（日）午前10時から、京都市保育園保護者会連合協議会（市保連）2022年度総会を開催しました。昨年度はオンラインのみでの開催でしたが、今年度は会場参加とオンライン参加を組み合わせたハイブリッド方式で実施し、15園より23名の方々にご参加いただいたほか、18園より委任状をご提出いただきました。

総会審議では、2021年度の活動報告案・決算報告案と、2022年度の活動方針案・予算案と役員・事務局体制案が承認されました。

ミニ学習会と交流会

また、当日は総会での審議に先立って、ミニ学習会として助産師・SANE（性暴力被害者支援看護職）で保育園保護者の馬場信子さんより「3歳から始めるいのちのはなし」についてお話いただきました。子どもへの性教育をいつから・どのように行えば良いのかなど、多くの保護者の共通の悩みについて理解を深めることができました（2頁に詳報）。

その後行われた参加者の交流会では、コロナ禍で保護者同士のつながりが弱まったり、行事が中止になったりするなかで、保護者会の活動を盛り上げるための各園の様々な工夫が紹介されるなど、活発な情報交換が行われました（3頁に詳報）。

コロナ禍が続くなか、子どもたちの健やかな生活を保障するためにも、保護者が保護者会活動を通して保育や保育園に積極的に関わることの意義を改めて確認する機会となりました。



2022年度市保連総会に参加して

コロナ禍により、一昨年、昨年は書面決議やオンライン開催となりました。コロナ禍も3年目に突入し、今年は総会開催時点では感染拡大がやや落ち着いていたこともあり、対面とzoomの併用で総会が行われました。

総会の前半に行われたミニ学習会では、助産師の馬場信子さんによる『3歳から始めるいのちのはなし』をご講演頂きました。性教育はいつから？ 子どもに聞かれたらどう伝えたらいいのか？ など、普段疑問に思っていたことについて具体的なお話を伺うことができました。最後には性教育に関する絵本をいくつかご紹介いただけて大変参考になりました。

学習会では保護者の悩みや困りごとをタイムリーに取り上げていただけたことがとてもありがたく、勉強になりました。

後半にあった交流会では、コロナ禍で保護者会活動がこの2年停滞してきた中、どうやって活動を復活させていくかという問題が多くの園で起きていることがわかりました。活動再開に向けた工夫や新たに始めた活動などを紹介していただいたり、各保育園の保護者の方と意見交換が出来て大変有意義な場となりました。

コロナ禍も3年目に突入し、現在、第7波の真っ只中ではありますが、いつかは終息すると信じ、子ども一人ひとりの成長を保護者みんなで見守れる、素敵な保護者会活動に繋げられるよう意識し、考えていきたいと思いました。

たかつかさ保育園保護者

総会
ミニ学習会

3歳から始めるいのちのはなし

馬場 信子　助産師・SANE（性暴力被害者支援看護職）

7月10日に開催された市保連層会にて、“3歳から始めるいのちのはなし”と題してお話をさせていただきました。

日本では2003年に起こった七尾養護学校事件を契機に性教育が後退したと言われており、今も学習指導要領に制限があるなど、「寝た子を起こすな」という姿勢を崩してはいません。

一方近年では世界的に巻き起こった#Me too運動や、性暴力被害者によるフラワーデモ、芸能界や花柳界における性暴力被害などが注目を集め、性暴力の予防という観点から性教育が見直されています。

カナダで性教育に携わってこられたメグ・ヒックリングさんは、『メグさんの性教育読本』で、「3～5歳の子は一番ラクに性の健康について教えられます。先入観を何も抱えておらず、体についての知識も他のことに関する知識と同じように受け入れます」と幼児期からの性教育を勧めておられます。

またユネスコも『国際セクシュアリティ教育ガイダンス』で5歳からの性教育を勧めています。

ただし、日本では性教育をする立場の大人もまともな性教育を受けた経験がないため、「性教育をしたくてもどうしたらいいかわからない」というジレンマに陥っていると思います。そこでお勧めするのは、“親子で一緒に学ぶ性教育”です。特に絵本は親子をつなぐツールとして非常に便利です。

性暴力は深刻なトラウマ等を引き起こし、生きることを困難にすることから、「魂の殺人」とも言われます。小さい頃から人権教育も含めた性（生）教育を行うことが、性暴力の加害者も被害者も生まない世の中を作る第一歩です。

コロナ禍においては SNS を通じた性被害が増えていますが、フィルター機能を利用したり、親子でルール作りをするなど工夫が必要です。

なによりいつでも何でも話せる親子関係と、子どもに愛情を注ぐことは、性犯罪から子どもを守る重要な役割を果たします。

性とは“心が生きる”と書きます。本来ならば性は人生を彩るものであると思います。すべての人にとって、性が肯定的なものになることを願っています。

なお、京都府助産師会では性教育の親子講座などを行なっています。詳しくは HP をご覧ください。

また私も出張・オンラインでの性教育を学校・企業・個人向けに行っています。

（『うまあう』http://www.uma-au.com）

「自分で話すのはやっぱり気が引ける…」「個人的な相談をしたい」と思われる方は、助産師を頼っていただくのも1つかと思います。



☆おすすめ絵本☆

・『あっ！そうなんだ！性と生　幼児・小学生そしておとなへ』浅井春夫他著（子ども向けのページと大人向けの解説ページからなる絵本です。）
・『いいタッチわるいタッチ　だいじょうぶの絵本』安藤由紀著（プライベートゾーンの話や、親向けの解説ページがあります。）
・『タンタンタンゴはパパふたり』ジャスティン・リチャードソン著（セントラルパークの動物園での実話を元にしたパパ2人で子育てするペンギンの話。LGBTQ への理解を深められます。）

☆おすすめサイト☆

・命育（めいいく） https://meiiku.com （年齢別・性別での子どもへの関わり方をわかりやすく説明。）
・ピルコン https://pilcon.org （性教育に関連する用語の解説や参考情報などが載っています。）
・ウイングス京都 https://www.wings-kyoto.jp （性的同意のパンフレットをダウンロードできます。性的同意を取ることは世界のスタンダードになりつつあります。）
・紳也's ホームページ https://iwamuro.jp （泌尿器科医の岩室紳也医師によるサイト。子どものペニスの洗い方などが載っています。）

☆おすすめ動画☆

・Consent for kids 日本語版（講演会でも流した、子どもにもわかりやすい動画です。）

☆思春期～大人が学ぶために☆

・Ameba TV『17.3 about a sex』（17歳のリアルな性の悩みをテーマにしたのドラマ。性的同意・若年性妊娠・性感染症・体の悩み・LGBTQ など取り上げている。）
・『13歳までに伝えたい女の子の心と体のこと』やまがたてるえ著
・コンドームの達人（上記岩室医師によるコンドーム使用法の解説動画。）
・『彼女は頭が悪いから』姫野カオルコ著（実際にあった、東大生5人による強制わいせつ罪事件を元に描かれた小説。被害者を侮辱して笑いの種にするために性暴力を用いたとされる。どんな理由であれ性暴力は加害者が100%悪いのであって、被害者は全く悪くない。）

2022 年度市保連総会　コロナ禍中での保護者会活動について意見交流を行いました

市保連総会の後半では、総会に参加する保護者同士でグループ別に交流しつつ、意見・情報交換を行いました。中心的なテーマになったのは、やはりコロナ禍中での保護者会活動についてでした。

コロナ禍で保護者同士のつながりが弱くなり、それまでの保護者会活動を経験していない保護者も増えるなか、「顔と名前が一致しない」「話が噛み合わない」、さらには「保護者の分断が進んでいると感じる」といった深刻な声もありました。また、様々な行事などが中止になる流れのなかで、「保護者会の行事や活動そのものを無くしていこうという声が支持を集めやすくなっている」といった意見もあり、改めて保護者会活動の意義が問われる状況にあることが分かりました。「活動が LINE や Zoom でのやり取りが主になり、コミュニケーション不足になった」という声からは、コロナ禍中で対面でのコミュニケーションをどのように取り戻していくかという課題も見えてきます。

こうしたなか、行事や活動が縮小したため「保護者会の繰越金が増えており、それをどのように還元するかが課題になっている」「クレームが出る前に徴収した会費を返金した」、逆に「バザーなど収益をあげる行事が中止になって繰越金を切り崩して運営している」など、保護者会費の扱いについても悩みを抱える保護者会が多いようです。

一方で、経験者が複数の役員を兼務して保護者会を活性化させる、T シャツやタオルなどのグッズを制作・販売する、飲食を中止してクラス入れ替え制でイベントを開催するなど、大変ななかでも保護者会の活動を盛り上げるための様々な工夫も紹介されました。なかには、保護者が DJ になって Zoom でラジオ放送を行い、保育士さんや歴代の保護者会長をゲストに招いて保護者からの質問に回答したり紙芝居を上演したりするといった、ユニークな試みもありました。

コロナ禍で大変な状況にある今だからこそ、子どもたちの豊かな生活と成長を保障するためにも、保護者が協力しながら保育に主体的に関わっていくことの大切さが指摘されています。その入口として豊かな保護者会活動を再生していくためにも、課題を共有し、アイデアを出し合う有意義な交流会となりました。

保護者の要望書に、京都市から回答がありました。

市保連では毎年、保護者と京都市が懇談する機会を設けており、これに向けて「京都市の保育施策の拡充を求める要望書」を提出してきました。

昨年度（2022 年 2 月 15 日提出）は、例年要望している保育の質の確保や保育環境の向上を求める項目に加えて、保育料の負担や新型コロナウイルスの感染拡大等の子育て世帯への影響を把握する実態調査の実施や、子育て・保育施策の決定過程に子育て世帯の意見を反映する仕組みを整備することを求める項目を盛り込みました。

残念ながら保護者との懇談会については、既報（『市保連ニュース』2022 年 3 月号）の通り、コロナ禍への対応や子ども若者はぐくみ局長の逮捕等で混乱している時期でもあり、多忙であるとの理由から開催が見送られましたが、今回、京都市より要望書への回答が文書で寄せられました。回答文書は市保連の HP に掲載していますが、現在の京都市の保育政策の姿勢や考え方を知る上でも重要な内容ですので、ぜひご覧ください。

京都市から文書で回答が寄せられたことはもちろん一定の意義がありますが、市保連としては、今回の要望にも盛り込んだように、保育園保護者・子育て世帯の意見を京都市の施策に取り入れる仕組みとして、対面の場において保護者の実態や声を届け、対話を重ねる機会を大事にしたいと考えています。

そこで今年度も保育園保護者・子育て世帯の声を京都市に届けるため、要望書を作成するとともに、多くの保護者の方々に参加いただける形での懇談会の場を設定するよう京都市に求めていきたいと思います。

もちろん、要望書の作成や懇談会の実施には、保育園保護者・子育て世帯の皆さんの参画が不可欠です。今後も、皆さんの声を届けるための様々な機会を設けていきたいと思いますので、ご参加よろしくお願いいたします。

重要なお知らせ　市保連のホームページを移転しました。

従来の市保連ホームページに障害が発生し、閲覧できない状態が続いていましたが、復旧の見込みが立たないことから、９月 11 日にホームページを移転しました。以前のコンテンツも少しずつ移行していきたいと思います。「ブックマーク」や「お気に入り」等に登録いただいている場合は、設定の変更をお願いいたします。

新 URL ☞ https://kyotoshihoren.wixsite.com/my-site（右記の QR コードでもアクセルできます）

市保連副会長の退任にあたって（ごあいさつ）

「“どんといけまつり”で、一緒に綿菓子売りましょうよ！」と数年前に当時の事務局長からの甘～いお誘いを受け、おまつり要員で事務局入りをしたはずが、副会長までさせてもらうハメに…

数十年ぶりに参加した市保連は、その道のプロたちが中心となって運営されてる感があり、自分は安心して賑やかし役を担えば良いなと思ってました、ところがどっこい、コロナ禍で…

今まで経験したことのない活動制限や生活変化の中でも、様々な知恵と工夫を凝らして、精力的に活動をしてこられたことは、本当に凄いことで、自分自身にも大きな影響を与えていただけました。

そんな市保連の存在は、私たち保護者が活動、いや生活していく上で、なくてはならない心の拠り所になり続けて行ってもらいたいです。

あと暫くは微力ながらお手伝いさせていただき、共に学べればと思いますので、これからもどうぞよろしくお願いします。

保護者の皆さん、微力でも無力じゃないので、どしどし賑やかしに来てくださいね～！

2019-2021 年度市保連副会長　長谷　航

市保連 LINE オープンチャット、始めました!

定期的な〈保護者会活動交流会〉以外でも、市保連に集う保護者会役員の皆さんが、普段から各園・各保護者会の状況や保護者・保護者会の悩みごとなどを気さくに話し合ったり、情報交換したりできる場として、LINE 上に市保連オープンチャットを開設しました。オープンチャットはグループ LINE と同じように使えますが、途中で参加しても過去のトーク履歴を遡って読めるなど、より気楽に、幅広くコミュニケーションをとることができます。

参加資格は各保護者会の会長、副会長、または市保連を担当する役員の方々です。参加を希望される方は、市保連事務局へメール（info@shihoren.net）までご連絡ください。参加方法をご案内します。メールには、保育園名・役職・お名前を記載してください。たくさんの皆さんのご参加をお待ちしています！

2022 年度第 2 回保護者会活動交流会のお知らせ

2022 年度第 2 回市保連保護者会活動交流会を下記の通り開催します。

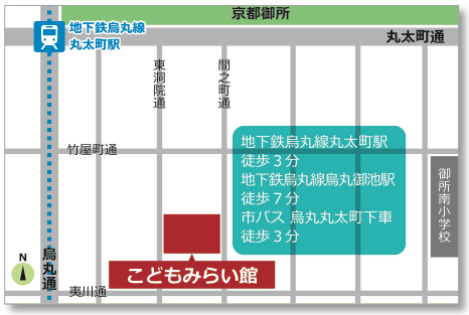
日時：2022 年 10 月 20 日（木）19 時から 21 時

場所：こどもみらい館 2 階 第 3 研修室

京都市中京区間之街通竹屋町下る楠木町 601-1

※　オンライン参加（Zoom 使用）も可能です

※　新型コロナ対策のため保育体制は確保しておりません。ご了承ください。



新型コロナウイルス感染拡大防止のため、Zoomでのリモート参加も可能です。リモート参加をご希望の方は、10月17日（月）までに市保連事務局へメール（info@shihoren.net）にてご連絡下さい。折り返し、事務局よりZoomミーティングID・レジュメなどをお送りします。

各園の保護者会役員が抱える悩みを相談し合い、他の保育園の状況についても知り、交流する機会ともなります。未加盟の保護者会、保護者個人でのオブザーバー参加も歓迎します。

●お仕事と子育てで大変お忙しい日々と思いますが、皆さまぜひご参加ください！●

★市保連メーリングリストご登録のお願い★

京都市保育園保護者会連合協議会（市保連）では保護者・保護者会相互の交流や情報交換のため、メーリングリストを設けています。この機会にぜひご登録ください。

登録をご希望の方は、保育園名・お名前と、「メーリングリスト登録希望」と記入したメールを、info@shihoren.net（市保連事務局）宛にお送りください。

『市保連ニュース』のバックナンバーは、市保連ホームページで公開中です！